

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [横浜市立川島小学校] 担当教諭名 [斎藤 誠和] (4年1組 35名)
 交流相手国 [ウガンダ]
 海外学校名 [Nakaseeta Foundation Primary School] 担当教諭名 [Mutegeki John Joseph]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	図工	ウガンダを調べて絵を描こう	8
	特活	ウガンダについて調べよう	6

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	国際交流
絵に込めたメッセージ	ウガンダの特徴と、日本の特徴を生かして、お互いの絵を描きました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・相手国のことを調べたので、他国のことについて、興味を持って調べることができた。	・何を描くか想像しにくいことがあったので、もっと細かい手だてを考える必要があった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
・完成作品を体育館に飾り鑑賞しました。	・国境を越えて取り組める行事で、子どもたちがとても意欲的に参加していました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	ウガンダはどのようなところなのか調べてみよう	日本ではない国の、広大な土地や文化についてとても驚いていました。	特活
情報収集	10月	ウガンダの文化や土地について調べよう	調べることがすべて新鮮で、よく調べていました。 特に食文化について「マトケ」という食べ物が日本と違い、興味を持っていました。	特活
テーマ検討	10月	調べたことを絵にしてみよう	調べたことを4つに分け、各グループごとに絵にしていきました。 「食文化」「自然」「国旗」「果物」に分けました。	図工
制作	10月	絵を描いていこう	実際にしらべたものを下書きし、清書して描いていきました。 大きなキャンバスに戸惑いながらも、手足をよごしながら描きました。	図工
鑑賞	3月	完成した絵を鑑賞しよう	歓声と拍手が起こり、自分たちが描いた絵を鑑賞しました。	図工

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	5	5・④・3・2・1	ウガンダのことだけでなく、自国に何があるのかを考えて違いを見つけ出していました。
異文化の理解	3	5・④・3・2・1	興味を持って相手国について調べることができました。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	4	5・④・3・2・1	相手国の写真が送られてきたときに、どんな人たちなのかと想像する場面がありました。
情報活用能力 (情報収集・発信)		5・④・3・2・1	おもにインターネットや本を活用して、相手国のことについて調べました。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	1	⑤・4・3・2・1	各グループ協力して取り組み、出来上がったときには自然と拍手がおこりました。
協働する力 (役割分担・協力)	2	⑤・4・3・2・1	みんなが自分の担当する仕事に精一杯取り組んでいました。
学習を追究する意欲		5・4・③・2・1	相手国のことや、絵に対して意欲的に取り組みました。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・4・③・2・1	調べたことを(特に自分たちが調べたこと)絵に描いて表現していました。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	自然と拍手をし、相手国のことについて考える発言をしていました。(どうやって日本のことが分かったのかな?)など